

辻堂駅周辺地域まちづくり会議ニュース

第16号 平成19年6月

発行：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

ご提案された街路樹の選定結果について

■湘南C-Xの街路樹についてのご提案

湘南C-X都市再生事業における公共空間等の植栽方針をとりまとめるにあたり、街路樹の植栽種について辻堂駅周辺地域まちづくり会議ニュース等により、1月31日から2月20日までの期間で募集した結果と、以前からの要望を加え全部で14件のご提案がありました。

No.	提案者	提案樹種と理由
①	Aさん	季節の移り変わりが分かる「桜」 常緑樹（掃除が不要で税金を使う必要がない）
②	Bさん	駅前広場に「桜」（子どもからお年寄りまで多くの人々が集まり憩う自然いっぱいの公園として桜の名所に）
③	Cさん （他231名の署名添付） *署名の内訳 市内…190人 辻堂・明治・大庭 136人 その他 54人 市外… 41人 茅ヶ崎市 19人 他市 22人 （東京、横浜、平塚、鎌倉、大和等）	「桜」（国の花）や「ふじ」（市の花）を街路樹に。 第一希望＝櫻の樹木を並木として可能な街路に。 第二希望＝枝垂れ櫻。一本だけ植樹（公園内または相応の場所）を。街（C-X開発）の記念樹・シンボルになるように。
④	Dさん	防火の役割を担うドングリの森で「緑の壁」を。 （新聞記事を添付し、検討を呼びかけている）
⑤	Eさん	パームツリー（椰子）（湘南の海のイメージを生かす）
⑥	Fさん	地元にある樹種（「湘南」のイメージより環境に合った樹種）
⑦	Gさん	見た目の美しさだけでなく、環境にも配慮した、バランスのよい植栽を。
⑧	Hさん	黒松（『発見』『感動』と湘南の光、風、海をイメージできる）
⑨	Iさん	視覚障害者が歩行しやすいように①大きく枝を広げない木（歩行中、顔に枝葉があたらないように）、また、根が張って歩道の敷石を持ち上げることがないように②数年後の成長後の樹木を考慮して選定を。

No.	提案者	提案樹種と理由
⑩	Jさん	<ul style="list-style-type: none"> ・北口大通り線＝モミジバフウ（湘南の潮風のイメージ）、三ツ葉ツツジ ・東西線＝ナンキンハゼ（柔らかさ） ・南北線＝ホルトノキ（海のイメージ） ・辻堂駅初タラ線＝イチョウ（他外景観とのつながり） ・区画道路1号線＝サルスベリ（季節感） ・区画道路2号線＝ハナミズキ（季節感） ・交通広場＝モミノ木（シンボリックな樹形、イルミネーション利用に映える樹木） ・交通広場の歩行者空間（東側）＝はくもくれん（明るい雰囲気） ・交通広場の歩行者空間（西側）＝さざんか又はつつじ（彩りを与える花）
⑪	Kさん	10年、20年後に切らなくて済む樹種。ひいては50年後に風格の加わるものが望ましい。長年かけて少しずつ大きくなる木。
⑫	Lさん	夏みかんの木（手入れが不要。蝶々が寄ってくる。香がよい。実はジャムとして街の特産品にもなる）
⑬	Mさん	辻堂の土地に合う木（イメージでは東海道を思い起こす松とか、南国をイメージさせるヤシノキなど）。現在の線路際の街路樹もできるだけ生かすように。
⑭	Nさん	桜（桜が満開になる様子を市民が楽しむことができる街になることで訪れる人への「希望」を感じさせることができる）

*No.①～④は、提案募集前に辻堂駅前都市再生担当に寄せられていた意見・提案も含んでいます。

*「提案樹種と理由」欄の樹種名につきましては、ご提案のまま表記しています。

ご提案いただいた樹種やその理由、考え方は次の6つに集約できるものと考えます。

- | | |
|------------|---------------|
| ①季節を感じる樹木 | ④維持管理を考慮した樹木 |
| ②地域にある樹木 | ⑤湘南をイメージさせる樹木 |
| ③環境に配慮した樹木 | ⑥地区を強く発信する樹木 |

以上、ご提案としては、平成18年12月8日地域まちづくり会議での意見等を踏まえた、「湘南C-X」公共空間等の植栽方針（案）で既にお示している樹種その他、サクラ、クロマツ、フジ、ヤシ類、ナツミカンなどの具体的な樹種もありますが、樹種選定に考慮した事項や方針につきましては基本的に変わるものではありませんでしたので、これをベースに、まちづくりコンセプトとなる景観・四季の変化・環境適応性・維持管理等について評価を行い、地区の緑の環境形成に関わる街路樹、交通広場、歩道状空地などの緑化樹種選定を行いました。

また、これらと併せ既存樹の活用についてもその樹種と保存位置の検討を行いました。

この結果については、地域まちづくり会議に報告され、湘南シークロスまちづくり調整委員会に諮ったその結果として次のとおりお知らせします。

■街路樹の樹種選定結果

路線名	辻堂駅北口大通り線		
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンボル空間としての豊かな歩行者空間の形成 ・ 並木の緑量によるシンボル景観の形成 ・ 賑わいを演出する景観形成 ・ 緑の大観をしめす緑量のある樹木 		
樹種選定	植栽帯	2列植栽箇所歩道内植栽帯	国道1号線交差点部
	ケヤキ	ハナミズキ	クロマツ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンボル性 ・ 四季の変化 ・ 緑陰 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花による潤い、賑わい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新旧（東海道）の融合 ・ 地域にある樹木
	緑の天蓋を形成し、季節感もあるケヤキとする。	より都会的な雰囲気を持つハナミズキとする。	国道1号からのゲートブレイスとして東海道の原風景ともいえるクロマツを導入する。
候補樹	<p>【素案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケヤキ ・ モミジバフウ ・ クスノキ <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モミジバフウ ・ ミツバツツジ ・ クロマツ ・ ヤシ類 	<p>【素案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハナミズキ ・ ヤマボウシ 	

路線名	辻堂神台東西線	辻堂神台南北線
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンボル軸（辻堂駅北口大通り線）と対比する景観形成 ・ 縦軸（南北）、横軸（東西）で湘南らしさを表現 ・ 併せて地区内の多様な景観の形成 	
樹種選定	ナンキンハゼ	ホルトノキ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東西、南北の変化（落葉樹） ・ 季節を感じる樹木（紅葉） ・ 柔らかさ、落ち着き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東西、南北の変化（常緑樹） ・ 湘南（海浜性）をイメージ ・ 常緑による日照障害を避ける南北軸
	より柔らかい雰囲気と、紅葉が鮮やかなナンキンハゼとする。	街路樹としてまとまりやすく、軽快なホルトノキとする。
候補樹	<p>【素案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナンキンハゼ ・ トウカエデ <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナンキンハゼ 	<p>【素案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホルトノキ ・ タブノキ <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホルトノキ

路線名	辻堂駅初タラ線	区画道路1号線
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区外道路との調和 ・ 既存樹（ユリノキ）の移植活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者系道路の景観形成
樹種選定	<p style="text-align: center;">カツラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市拠点に相応しい品格と質感 	<p style="text-align: center;">ハナミズキ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花木による歩行者への親しみ ・ 交差する辻堂駅北口大通り線との連続性、にぎわい創出エリアの統一感
		辻堂駅北口大通り線の2列植栽歩道側と統一し、ハナミズキとする。
候補樹	<p>【素案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イチョウ <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イチョウ <p>【委員会提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カツラ 	<p>【素案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハナミズキ ・ サルスベリ <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サルスベリ
備考	既存樹（ユリノキ）は西口広場等への移植を検討中	

■サクラの植栽

ご提案にあるサクラについては、区画道路2号線北側の行政施設用地の歩道状空地への植栽を検討していく。

路線名	区画道路2号線 北側の歩道状空地
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区中央部の交流拠点、歩行者系道路として楽しさ、華やかさのある植栽とする。
樹種選定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案にあるサクラとする。サクラ類の選定に当たっては、耐潮性のある種を今後選定する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他にも大通り線沿いの産業関連ゾーンの歩道状空地にサクラ類の植栽を誘導

■各路線の植栽樹種

●辻堂駅北口大通り線

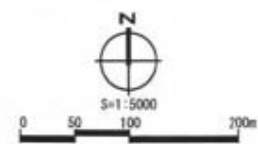
- ・シンボル空間としての豊かな歩行者空間の形成
- ・並木の緑量によるシンボル景観の形成
- ・にぎわいを演出する景観形成
- ・緑の大観を示す緑量ある樹木



○クロマツ：国道1号交差点部
・東海道の原風景の取り込み

○ケヤキ：植栽帯
・シンボル性
・四季の変化
・緑陰

○ハナミズキ：
2列植栽箇所歩道内植栽樹
・都市的な雰囲気
・花によるうるおい、にぎわい



●区画道路2号線
(北側歩道状空地)
・地区中心部のシンボル景観形成
・歩行者系道路の景観形成

○サクラ
・行政施設の歩道状空地、公園の沿道部に提案にあるサクラを植栽

●区画道路1号線
・歩行者系道路の景観形成

○ハナミズキ
・花木・紅葉による変化、楽しさ
・辻堂駅北口大通り線との連続性、にぎわいエリアの歩行者空間の統一感

●交通広場
・地区の顔、玄関
・歩行空間、滞留空間の領域形成
・既存樹の活用

○ドイツウヒ
・辻堂駅北口大通り線からのゲート性とアイストップ

○クスノキ(中央交通島)
・駅前のシンボル樹

○シマトネリコ、アキニレ、ヤマボウシ、サルズベリなど
・街(施設)と広場の融合
・空間の柔らかさ
・花木によるにぎわい、うるおい
・多様な樹木による季節感

●辻堂駅初タラ線
・地区外景観との調和

○カツラ
・都市拠点に相応しい品格と質感



●辻堂神台東西線、辻堂神台南北線

- ・シンボル軸と対比する景観形成
- ・縦軸(南北)、横軸(東西)の景観変化
- ・湘南らしさの表現
- ・地区内景観の多様性



○ナンキンハゼ：辻堂神台東西線
・辻堂駅北口大通り線(整形)、辻堂神台南北線(常緑)との対比
・鮮やかな紅葉と柔らかな雰囲気

○ホルトノキ：辻堂神台南北線
・辻堂駅北口大通り線、辻堂神台東西線(落葉樹)との対比
・海浜性のイメージ

●西口広場
○ユリノキの移植を検討中
・初タラ線の既存樹木



■交通広場の樹種選定結果

路線名	通路部	交通島部
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の顔、玄関としてのシンボリックな景観形成 ・ 交通広場利用者の歩行空間、滞留空間の領域形成 ・ 既存樹の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンボル性、ゲート性を表現する樹木
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街と広場の融合（歩行空間、滞留・利用空間の領域性の形成） 	
樹種選定	シマトネリコ、アキニレ、ヤマボウシ、サルスベリなど	シンボル樹：クスノキ ゲート性：ドイツトウヒ 華やかさ：コブシ、ヤマボウシ、サルスベリ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランダム植栽による揺らぎ ・ 多様な樹木配置による季節感 ・ 花木による賑わい、潤い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンボルとなる常緑樹は迫力、存在感のあるクスノキとする。 ・ ゲートを表現する常緑針葉樹は、樹形のまとまりやすいドイツトウヒとする。
候補樹	【提案】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ハクモクレン ・ サザンカ ・ ツツジ 【委員会提案】 <ul style="list-style-type: none"> ・ シマトネリコ ・ アキニレ ・ ヤマボウシ ・ サルスベリ ・ ケヤキ 	【提案】 <ul style="list-style-type: none"> ・ モミノキ 【委員会提案】 <ul style="list-style-type: none"> ・ クスノキ ・ ドイツトウヒ ・ コブシ ・ ヤマボウシ ・ サルスベリ
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通広場の既存樹は樹勢回復、保存を検討中。 	

交通広場の植栽樹種

交通広場の植栽は次の点を考慮する。

- ・当地区の顔、玄関口としてシンボリックな景観形成
- ・街（宅地）と広場（公共）の融合
- ・既存樹活用の検討

○街と広場の融合

ハードな空間に「柔らかさ」を与える

- ・柔らかい雰囲気を持った樹木
- ・湘南らしさを表現する樹木
- ・彩を与える花木

- ・常緑樹：シマトネリコ
- ・落葉樹：アキニレ
- ・花木：ヤマボウシ、サルスベリ



○辻堂駅北口大通り線に対するゲート性、アイストップ

- ・シンボリックな樹形
- ・ライトアップやイルミネーションなどイベント利用に映える樹木

常緑の円錐形針葉樹
ドイツウヒ



○シンボリックな存在感のある樹木

緑量のある常緑樹：クスノキ



○地区のアピール

- ・C-X花壇

- 歩行者空間にゆとりがある箇所では景観木を植栽して空間、景観にまとまりを与える
 - ・樹形の整う樹木
 - ・明るい雰囲気の落葉樹
 - ・辻堂駅遠藤線との関連付け
- ・ケヤキ（並木とは雰囲気を変えて株立ち）

- 保存樹林の養生、納まりに配慮し植栽帯とする。



○柔らかさと彩を与える花木



- ・交通島などの広い植栽帯では、低木・地比類は混合植栽とする。
- ・歩行者の視線に加え、デッキや周辺施設からの眺めに考慮した植栽デザインを行う。
- ・低木植栽のためのスペースが十分に確保できない箇所では、トレリスにより緑のボリュームを確保する。





【湘南C-X(シークロス)とは】

「複合的(Complex)」の頭と尾を用いて簡略化し、「C」はCity(都市)・Culture(文化)・Sea(海)を表し、「X」はCross(辻)を意味し、湘南に代表される、自然・文化・都市がクロスし発展するよう、一般公募により選ばれた街の愛称です。

発行元：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

事務局
藤沢市役所 計画建築部 辻堂駅前都市再生担当
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL0466-50-3552 FAX 0466-29-1353
Eメール：tujitosi@city.fujisawa.kanagawa.jp

※ お問い合わせは、電話、FAX、Eメールで事務局までお寄せください。

辻堂駅前都市再生担当のホームページにもニュースを掲載しています。
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tujitosi/>